

基本情報

施設名	エクレスすみれ保育園
所在地	横浜市都筑区長坂 7-15
電話番号	045-941-8600
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 30 年 4 月 7 日～ 平成 30 年 9 月 8 日	・職員一人一人が自己評価票に記入を行う。(但し、新人職員は除く) ・各職員が出した評価と、現状の保育を照らし合わせ、園の評価の作成を行った。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 30 年 10 月 1 日 平成 30 年 10 月 3 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認および施設長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行いました。食事・午睡の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 30 年 8 月 3 日～ 平成 30 年 8 月 31 日	園から保護者へ配付し、アンケートを投函してもらう。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 30 年 10 月 1 日 平成 30 年 10 月 3 日	1 歳～2 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、午睡、遊び、散歩等を場面観察から考察をまとめた。

第三者評価結果報告書

《総括》

対象事業所名	エクレスすみれ保育園
経営主体(法人等)	学校法人岩谷学園
対象サービス	保育所
事業所住所等	横浜市都筑区长坂 7-15
設立年月日	平成 28 年 4 月 1 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価実施期間	平成 30 年 5 月 (契約日) ~平成 31 年 1 月 (報告書提出)
評価項目	横浜市版

《総合評価》

【エクレスすみれ保育園の立地・概要】

●エクレスすみれ保育園は、横浜市営地下鉄センター南駅より南に進み、途中茅ヶ崎交差点を過ぎ、徒歩10分程度、大原みねみち公園に隣接し、緑豊かな場所に位置しています。エクレスすみれ保育園が所在する都筑区は、自然の地形や港北ニュータウン開発前の雑木林を生かした美しい公園が数多くあり、緑道でもつながっており、樹木や草花、野鳥、せせらぎ等、心和む風景が数多く残る地域です。園の周辺には茅ヶ崎公園や、自然生態園、ささぶねのみち、そして、隣接する大原みねみち公園は茅ヶ崎公園から葛が谷公園に緑道でつながり、カルガモの親子や、鯉や亀等が目を楽しませ、樹木の繁りは緑樹のトンネルを醸し、四季折々の自然が味わえる環境に恵まれ、子ども達の散歩道になっています。また、近辺には学校法人岩谷学園（以下、法人という）が経営する1号認定（幼稚園）と、2号・3号（保育園）を保有した幼保連携型認定こども園エクレス、そしてプレ保育のエクレスフィアがあります。

●エクレスすみれ保育園は、学校法人岩谷学園（以下、法人という）の経営であり、平成10年4月に岩谷学園附属エクレス幼稚園を開園し、平成17年4月に認可保育園「ペアレントサポートセンターエクレス子供の家」を開所し、同年7月に認可外保育施設「プライベートルームエクレスフィア」を開所しています。そして、平成24年4月に「幼保連携型認定こども園」の認可を受け、平成28年3月に開設された「エクレスすみれ保育室」は、平成28年4月に認可保育園「エクレスすみれ保育園」として新設されました。定員は、0歳児（6名）、1歳児（12名）、2歳児（20名）の乳児38名の保育を実施し、現在は、1歳児のみ4名増員の16名であり、42名が在園していますが、来年度より1歳児は定員16名となる予定であり、ニーズに対応して運営を行っています。園舎は鉄骨造りの2階建てで、床延べ面積596.92㎡（育児保育室3室）と調理室、トイレ（沐浴室）、事務室を設け、園庭面積は50.08㎡あります。職員構成は、正規職員12名・非常勤1名・パート職員17人の体制でアットホームな雰囲気の下、全職員が子ども一人一人を把握して園全体で見守り、子どもたちは健やかに成長しています。3歳児以降は、同法人の幼保連携型認定こども園

も園エクレスとの連携により幼稚園には優先入園が行われ、保育園は市の指定に基づいて入園できる体制が整備されています。

【エクレスすみれ保育園の方針】

●エクレスすみれ保育園では、子ども一人一人の「個」を大切にした保育を実践し、子ども達がこれから人生を生きていく上で必要な土台となる能力を獲得できる環境作りに努めています。法人の保育理念は、「建学の精神と学園教育方針（楽しい教育）、認定こども園での教育・教育方針に基づき、子どもの発達に必要な保育・教育を提供する。」とし、目的に、「登園は子どもの健やかな成長が図られるよう環境を整備し、心身の発達を助長すると共に、保護者に対する子育ての支援を行う。」を示しています。エクレスすみれ保育園の保育方針は、法人理念に沿い、「やさしさ、たくましく、うつくしく、表現力豊かな子どもを育てる事を目的とする。」を掲げ、方針に基づき、必要な「こころ」・「ことば」・「あそび」・「表現」の“4つのつばさ”を保護者と共に育てるお手伝いをしていきます。」と謳っています。具体的には①「戸外活動を目いっぱい行う」、②「モンテッソーリ教育を取り入れた保育環境の実現」、③「定期的なリズム遊びの実施」、④体も心もたくさん触れ合える環境の「4つの推進」を挙げています。①では、恵まれた環境を十分に満喫し、②については、モンテッソーリ教育の実践に向けた自立、物的環境、人的環境の整備とし、③は、リズム、手遊び、体操、わらべ歌等を定期的に推進し、④では、子どもとのスキンシップを心がけて保育に当たります。これら方針が新指針の3つの視点とし、5領域の推進に寄与すると考え、全職員で共通理解を図り、日々目指して保育に当たっています。

《優れている点》

1. 【「個」を大切にした保育の推進】

●エクレスすみれ保育園では、子ども一人一人の「個」を大切に、個々の子育てに寄り添い、自らの価値観を信じて困難に立ち向かう逞しさを持てるよう、さらには自分や相手を大切に作る心や、やさしさの中に強さを身に着けることに向けた「人づくり」の支援を目指しています。豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする「知識や技能の基礎」を身に付け、これらを活用および工夫をして「思考力・判断力・表現力」等の基礎を養っています。また、心情、意欲、態度が育って行く中で、より良い生活を営もうとする「学びに向かう力・人間性」等、一人一人の「個」の成長を育むよう推進しています。

2. 【モンテッソーリ教育を導入した保育環境の実現】

●エクレスすみれ保育園の保育理論として、「モンテッソーリ教育」を中心とした保育を展開しています。モンテッソーリ教育では子どもの興味や発達段階を正しく理解し、子どもが触ってみたい、やってみたいと思う環境を適切に用意し、「呈示」と「環境」を結び付けて自発的な活動を促す理論です。0歳～3歳児の前期段階は無意識に「吸収する精神」の時期と呼び、人生の中で最も吸収力が強く、海綿のような吸収が可能な時期を大切に育んでいます。

《さらなる期待される点》

【さらなる保育の質の向上】

● エクレスすみれ保育園では、子ども一人一人の「個」を大切にした保育の実践、モンテッソーリ教育の展開、定期的なリトミック、リズム遊び等を実施しています。0歳～2歳児の保育にあたり、自分の欲求を言葉で表現できない月齢・年代の子どもを限定した保育は、子どもが今何を欲しているのかを理解し、子どもの日々の成長を理解するスキルが必要です。施設長をはじめ、諸先輩保育士の指導、研修等はあるものの、日常保育、モンテッソーリ教育の展開、定期的なリトミック、リズム遊び等において、職員個々が理解をして行動するスキルが求められます。一般的な保育所以上のスキルアップに向けてさらなる努力を期待しています。

横浜市福祉サービス第三者評価結果

第三者評価受審施設 エクレスすみれ保育園	
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

<評価領域>

I	利用者本人（子ども本人）の尊重	II	サービスの実施内容	III	地域支援機能
IV	開かれた運営	V	人材育成・援助技術の向上	VI	経営管理

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類 1 - 1	保育方針の共通理解と保育計画等の作成
評価	

評価の理由（コメント）

- エクレスすみれ保育園の建学の精神は、教育を通して「努力心」、「誠実心」、「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命としており、併せて法人の教育テーマである「楽しい教育」を目指し、6つの目標を定め、毎週一回、朝の打ち合わせで唱和を行っています。保護者に対しても、重要事項説明書に沿って園の設置目的、運営方針の説明を行っています。年1回、全職員（常勤、非常勤）で打ち合わせを開催して周知徹底を図っています。今年度の保育指針改定の中で、幼児教育の中でも特に、乳児教育について丁寧に示されており、全体的な計画の中でも年齢別の考え方をより色濃く組み込んでいます。
- 子どもの最善の利益を第一義として「努力心」、「誠実心」、「独立心」の育成と「楽しい教育」を目指すことを踏まえ、全体的な計画については、今回は保育指針の従来通りの考え方を踏襲し、地域の実態について法人系列である幼稚園との連携を継続して行くと共に、系列保育園との交流も継続して行く方針です。
- 全体的な計画に基づいて年齢ごとに年間指導計画を作成し、個人別に月間指導計画を作成しています。
- 月間指導計画の作成は、個別に作成し、月初めの園児の姿、月のねらいを掲げ、月1回、各クラス会議を通してクラスの状態に応じて策定し、月齢・年齢ごとに見直しを図っています。子どもへの説明、意向を聞くことは難しい面はありますが、2歳児の月齢が高い子どもには活動の予定等で説明して理解を促し、子どもの意見は尊重するようにして保育にあたっています。

評価分類 1 - 2**子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施****評価****評価の理由（コメント）**

- 入園前（2月中旬～下旬）に「重要事項説明会」を開催し、別途日程を定めて個別面談を実施し、保護者に成育歴、子どもの健康状態や家庭の状況、アレルギー等を確認し、家庭と園の生活が連続したものになるよう職員間で共有を図り、入園後の保育に生かしています。
- 入園説明会、重要事項説明会時に受け入れに際して慣らし保育の必要性を説明し、短縮保育（慣らし保育）を実施しています。期間は基本的に1週間とし、実施2日間は11時まで、3日、4日目は12時まで、5日目は15時30分までとして段階的に子どもが慣れるよう配慮し、月曜日からスタートの場合は週明けから通常保育としていますが、育休で休みが長い家庭、直ぐ勤務に復帰したい保護者等の事情を考慮し、柔軟に都合に合わせるようにしています。新入園児に対しては、安心して過ごせるよう担任と他職員間で協力体制を構築して配慮し、食事はなるべく主担当保育士が担当するよう配慮しています。家庭との連絡は連絡ノートを活用して密に連携を図り、個々の生活リズム、保育の進め方の構成を工夫しています。子どもが心理的拠り所とする物の持ち込みについては、認めています。フィギュア等、他の子どもが欲しがるといふような玩具は玄関で預かるようにしています。在園児への配慮については、担任の内1名は持ち上がるように努めています。
- 子ども個々の発達過程や状況は、個別に記録して個人別指導計画の作成および見直しに反映させています。職員体制は複数担当制とし、各クラスで作成してクラス会議で確認を行い、保育の見直しを行っています。トイレトレーニングは、保護者と連携・相談をしながら進めています。
- 乳児保育（0歳児）では、広い空間を遊ぶ、食事、午睡のスペースに分け、静と動の環境を整備しています。玩具については、0歳児にとっての危険に十分留意し、玩具の大きさを考慮して誤飲や誤嚥がないよう安全、衛生、整頓に注意しています。また、個人差、成長度合いが大きい月齢であることを理解し、愛着関係が大切な時期であることを踏まえ、アイコンタクトしながら声かけ、語りかけを大事にし、職員自身の豊かな表情、やさしい雰囲気ですキンシップを図ることを大切に接しています。遊びでは、わらべ歌、手作りの玩具、引っ張り布、音の出る鈴等で好奇心、五感、心の発達を適切に援助しています。
- 1歳児では、行動範囲が広がり、自我が芽生えて好奇心も旺盛になる時期には、子どもが自分でしようとする気持ちを大切に、自立心の育みを支援しています。1歳後半から2歳前半は周囲の友達に関心を持ち始めながらも協調やルールは理解できず、ものの取り合いや引っ掻き、嘔みつき、かんしゃく等のトラブルに対して、子どもの体の状態、機嫌、食欲等の日常の状態を把握しながら、上手く言葉にできない気持ちを受け止め、共感を示し、代弁して仲介する等、友達と楽しく遊べるよう援助しています。遊びでは、戸外環境に恵まれているので、自然の探索活動を行い、雨の日等は保育室にマットを敷いたり、滑り台を出したりして体を動かして発達につながる遊びを行っています。また、職員は、個々の発達状況や対応方法について情報共有の連携の強化に努めています。

- 2歳児は、行動や自己表現の幅が広がり、運動能力も発達し、園ではお散歩に良くでかけています。生活習慣においては、手洗いや、パジャマの着替え、スプーンやフォークが保育士の補助がなくても一人でできるよう援助し、職員は子どもの欲求（やりたい気持ち）を理解して受け止め、自発性から自立心の芽生えを支援しています。言葉も増え、保育士の言葉も理解できるようになり、職員は子どもに対して接遇に留意して接するよう努めています。トイレトレーニングはチェック表を基に把握し、子どもが成功体験をできるよう支援し、保護者とも連携を図りながら進めています。
- I-2- (6) は非該当

評価分類 1 - 3	快適な施設環境の確保
評価	

評価の理由（コメント）

- 施設環境については、職員の係り分担を決め、環境・美化の計画に沿って園舎内の環境を整備し、園舎内、外回りの掃除を実施し、清潔に保っています。室内の温・湿度管理を行い、適宜、通風・換気に配慮しています。保育室は、大きな窓から陽光を全面的に取り込める構造になっており、日中は自然の明るさの中で生活し、光の調整や落ち着ける空間作りをしています。また、カーテン類はやさしいピンク色や柔らかい黄緑色をベースにして温もりを感じる生活環境作りが成されています。音や声に関しては、主任から言葉は少なめにしよう喚起しています。
- トイレに沐浴設備、温水シャワーを設備し、0歳児は沐浴を行い、オムツかぶれや汗をかいた時、排泄等での汚れの処理等に活用し、体を清潔に保っています。トイレに「毎日掃除をすること」と貼り紙をし、清掃および使用前後は消毒、清掃で衛生管理を行っています。
- エクスすみれ保育園は、乳児期の丁寧な係わりを大切に保育に当たっています。各保育室は小集団保育が行えるよう活動スペース、食事スペース、午睡スペースの空間を確保し、衛生的な環境を整備しています。異年齢児での交流は、朝夕は合同保育を行い、異年齢でお散歩等の戸外活動も取り入れ、常に交流ができる体制があります。

評価分類 1 - 4	一人ひとりの子どもに個別に対応する努力
評価	

評価の理由（コメント）

- エクレスすみれ保育園は、3歳未満児専門の保育所であり、全園児の個別指導計画を作成しています。発達上に課題が見られたり、特別な配慮が必要な子どもについては、配慮や係わり方等、通常の個別指導計画により詳細に計画を作成し、職員間で共通理解をして対応しています。個別の目標・計画は定期的に確認し、日頃の保育から子どもの様子や発達状況に応じて柔軟に変更、改善を行っています。保護者とは日々の子どもの様子を伝え、連携を図りながら共有し、相談しながら保育にあたっています。
- 子どもの発達過程に応じた記録では、児童票、身体測定表、成長発達記録、子どもや家庭の個別の状況、保護者からの要望等の記録を行い、必要に応じて全職員が閲覧できるようにしています。園児は3歳未満児であり、保育所児童保育要録は作成していませんが、法人系列の幼稚園等に進級する場合は必要な情報を提供しています。

評価分類 1 - 5	保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み
評価	

評価の理由（コメント）

- 配慮を要する子どもについては、今年度は在園していませんが、個別の月間指導計画を作成し、個々の配慮点、様子や発達、係わりを記録し、必要な情報は職員間で共有を図っています。学習内容はファイリングしていつでも確認できるようにし、職員全体で係わるよう配慮しています。
- 障害児保育のための環境整備では、園内はバリアフリーの構造になっており、段差はなく、オストメイトのトイレの設備、エレベーターが設置されています。横浜市北部療育センターや医療機関、都筑区役所の保健師、専門機関と連携を図り、助言を得られる態勢を整え、保護者と情報を共有して保育に当たっています。障害児については、同年齢の他児と分け隔てなく同じ空間で統合保育を実施し、職員は、障害児保育について学習し、園内研修等で知識や情報を共有して研鑽を図っています。
- 虐待については、施設長は「オレンジリボン」の話の際に虐待の定義を取りあげて説明し、事例を挙げて全職員に説明しています。日々の視診により虐待が疑われるようなケガ、アザや衣服の汚れについて確認し、状況に応じて記録に残し、関係機関と連携を図り、事例があった場合は迅速に通告、相談できる体制を整えています。家庭支援の必要な保護者については、職員間で共有してサポートするようにし、虐待の予防に努めています。

- 食物アレルギー疾患のある子どもの除去食を提供する場合は、生活管理指導表をかかりつけ医に記入してもらい、保護者、保育士、栄養士が連携を密にし、適切に対応を行っています。職員はアレルギー疾患対応に必要な知識や情報を共有し、マニュアルに沿って実践しています。食事では、専用トレイを用い、食札を使用し、除去食品を記載し、配膳は担任のみが行うようにして誤配膳、誤食事故を防止しています。
- 文化が異なる外国籍の子どもへの対応では、今年度は在園していませんが(去年は2家庭)、日本の文化、生活習慣に無理強いすることはせず、子どものペースを尊重し、他の子ども達には海外について知らせる時間を設ける等、理解につなげる工夫をしています。外国籍の保護者については、意思疎通が困難な場合には通訳ボランティアに依頼する等、意思疎通が図れる対策を講じています。

評価分類 1 - 6	苦情解決体制
評価	

評価の理由 (コメント)

- 保護者からの苦情などに関しては、苦情申し立てのチャート図を玄関に掲示し、苦情に対する対応姿勢と手続き方法を示しています。要望や意見等を聞く機会としては、意見箱を常時設置して気軽に意見が述べられるようにしています。また、運営委員会を開催して保護者代表(3名)に参加してもらい、園に対する意見を聞く機会にしています。意見を表明するのが困難な保護者に対しては、職員から声かけをする等、コミュニケーションを図るよう努めています。
- 苦情解決マニュアルを整備し、相談・苦情受付担当者は事務長とし、相談・苦情解決責任者は施設長と定め、第三者委員を交えて対応する仕組みがあります。第三者委員とはメール、Facebookで連携を図り、各種園の案内を届けています。また、園単独で解決困難な場合は、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制を整えています。苦情・要望があった場合の対応は、要望内容について記録し、速やかに会議で検討し、職員に周知して対応しています。過去の苦情・トラブル等のデータは蓄積し、園の運営に生かしています。

評価領域Ⅱ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類Ⅱ－1

保育内容 [遊び]

評価



評価の理由（コメント）

●子どもが自発的に活動できるよう、玩具や教材等は子どもたちが自分で取り出して遊べるようにしています。エクレスすみれ保育園では、モンテッソリー教育を取り入れており、モンテッソリー専用の教具を用意し、使用後はきちんと片づけることを約束とし、使える時間（朝夕の合同保育後）や場所を分けています。1人で玩具を使って遊びたい子どもには環境構成に配慮し、自分の好きなことをして遊び込める時間を十分に保障して興味・関心の探求につなげています。

●一斉活動や自由遊びについて、子どもの自由な発想を受け止めて集団活動に取り入れるようにしています。子ども一人一人が興味・関心を持って遊べるよう、モンテッソリー教具を含め個々の発達や興味に合わせて月に数回、遊具・教具の入れ替えを行っています。散歩では自然豊かな公園に出かけ、のびのびと自然に触れ、興味や好奇心を育み、子どもが思い思いの自発的な表現ができるよう支援しています。また、歌やリズム、リトミック、モンテッソリーの教具、絵具、クレヨン等を用い、自由に表現ができるようにしています。2歳児を中心に朝の会や簡単なルールのあるゲーム等を行い、社会性を育てています。

●栽培では、敷地内の畑で夏野菜の栽培を行い、食物が実や花を付ける様子や、成長する過程を保育士と一緒に観察し、食育につなげています。動植物に触れ合う機会としては、かたつむり、カマキリ等を飼育している他、自然豊かな環境を生かして散歩時に虫取りや池の生き物（鴨、亀、鯉）を観察しています。辺りはまだ農業地域が残っており、園外保育で親子での芋掘り体験を実施しています。散歩や戸外活動では、地域の方々と挨拶を交わし、系列幼稚園と交流を行っています。

●子ども同士のケンカの場合は、様子を見守りながら年齢や発達状況に応じて保育士が仲介する等、援助しています。乳児では、ケガにつながらないように留意し、子どもの気持ちを代弁して受け止めるように接しています。職員は、子どもとの愛着関係を大切に、温かい態度で接し、正しい言葉を遣って言葉の獲得ができるよう心がけています。

●健康増進の工夫では、天気の良い日は恵まれた周辺環境を生かし、散歩や戸外活動を積極的に取り入れ、発達に応じてできるだけ全身を使って楽しく活動できるよう工夫し、健康増進に努めています。紫外線対策やアレルギーへの対処では、園外へ出かける際はカラー帽子を被り、水遊び等の際はベランダにネット（パラソル）を活用して日差しの軽減を図り、長袖の準備もしています。遊びについては、既往歴のある子どもや、その日の一人一人の健康状態に合わせて工夫し、配慮しています。

評価分類Ⅱ－1

保育内容 [生活]

評価



評価の理由（コメント）

●食育は月齢の下半期位から取り組み、園で栽培して収穫した野菜を活用して食育に生かしています。収穫した野菜を実際に見たり触れたりして興味につなげ、子どもが関心を持てるよう工夫しています。食事については個人差を考慮しながら苦手な食材も食べられるようになるよう援助しています。2歳児は、調理、配膳、片づけ等の一連の過程に関心を持てるよう調理員との係わりを持ちながら食事を楽しめるように工夫しています。授乳では、抱っこをしながらアイコンタクトで声かけをしながら対応し、離乳食は、子どもの意欲、ペースを尊重して見守りながら援助しています。

●食事については、ゆったり食事できる雰囲気作りに努め、クラシック音楽のBGMを流す等、楽しく食事ができるよう配慮しています。食事は厨房からエレベーターによりワゴンで運ばれてきますが、2歳児から汁物は保育室で目の前で盛り付けて提供しています。また、食事前には手洗いをし、みんなで「いただきます」の挨拶をして食事を行っています。乳児では、自分でスプーンやフォークを持って食材を取り入れようとする行動を大切に使い方の援助を行う等、食べる意欲を尊重しています。食器は、安全性に配慮したメラニ樹脂を採用し、耐用年数範囲内で入れ替えを行い、コップは年齢・月齢に応じて両手持ち、片手持ちを用意し、食具も一人一人に応じて各種取り揃えています。2歳児後半では中には箸を使い始める子どもも居て、使い方、やる気を支援しています。

●献立・調理は外部の調理会社に委託し、毎月の職員会議で調理方法、食材の切り方（大小・硬さ等）、形状、喫食状況について話し合い、連携を図りながら改善につなげています。調理会社の栄養士は、食事・おやつの様子を見廻り、食事の状況、残食量を記録し、献立に反映させ、食育にも一緒に取り組んでいます。給食会議で形状、硬さ、大きさ等を話し合い、給食の改善につなげています。

●献立表は、保護者に事前に配付し、献立表のポイントについては給食だよりに明記し、情報提供を行っています。保育参加では試食（離乳食の検食含む）の機会を設け、園の給食の理解につなげています。

●午睡については、午睡スペースを確保し、安心して心地良く午睡ができるよう室温、湿度、適度な明るさに配慮しています。午睡時は睡眠チェックを行い、乳幼児突然死症候群について職員に意識を徹底し、5分間隔でブレスチェックを行っています。眠れない子ども、眠くない子どもには強制はせずに布団に横になる等、静かに過ごすよう促しています。

●トイレトレーニングでは、個人差があることを十分に理解し、一人一人の排泄リズムを把握し、1歳児から1日に数回便座に座るよう誘導する等、発達状況に応じて保護者と連携を密にしながら進めています。トレーニング開始中は、家庭から着替えを持参してもらい、日中はトレーニングパンツで過ごす時間を伸ばすようにしています。排泄に失敗した際は、子どもの羞恥心に配慮するよう心がけ、やさしく言葉かけを行い、シャワーを活用する等、気持ち良く過ごせるようにしています。

●長時間保育については、子どもの健康状態に留意し、ゆったりと寛いで過ごすことができるよう環境を整えています。延長保育は19:30まで行っています。18時30分以降で、希望者のみ軽食提供を提供しています。

評価分類Ⅱ－2	安全管理 [健康管理]
評価	

評価の理由（コメント）

●健康管理は、健康管理マニュアルを備え、マニュアルに基づいて子ども一人一人の健康状態を把握しています。

予防接種の接種状況や既往症歴等は保護者に確認して健康台帳に記録し、全職員で共有化を図っています。歯磨き励行では、実年齢で1歳を過ぎた子どもは歯磨き指導を実施し、2歳児は食後に歯磨きができるようになっています。

●定期的に園医による健康診断・歯科検診を実施し、健診結果は健康台帳、歯科検診表に記録し、保護者にも知らせています。月1回の身体測定の結果も保護者に知らせています。通院が必要な家庭については、結果・経過確認を行い、フォローを含め連携を密にするよう努めています。

●感染症等について、感染症対応マニュアルを備え、登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応について、入園のしおり（重要事項説明書）に明示して保護者に説明しています。感染症が発生した場合は、園内での感染症蔓延に留意し、保護者に注意喚起を行い、職員に対しても必要な情報を周知しています。保育中に発症した場合は、速やかに保護者に連絡を行い、お迎えまで個別に対応しています。地域、最新の感染症情報は行政や地域等から入手し、職員間で共有化を図り、玄関に掲示して保護者にも知らせています。

評価分類Ⅱ－2	健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]
評価	

評価の理由（コメント）

●衛生管理マニュアルを整備し、年1回、見直しを行い、定期的に研修を実施して衛生管理について徹底を図り、適切な処理が行えるよう体制を整えています。清掃管理票を作成して各クラスに設置し、マニュアルに沿って毎日、トイレや保育室、共用部等の清掃を行い、園内の清掃・衛生管理に努めています。ノロウイルス対策では嘔吐処理セットを各部屋、トイレに備え、園内研修で処理方法を習得しています。

評価分類Ⅱ－２	健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]
評価	

評価の理由（コメント）

- 安全管理では、安全管理マニュアルを整備し、事務室で保管して閲覧できるようにしています。保育室は低い家具を採用して安全管理を行い、家具への滑り止め、備品等の落下、転倒防止を講じています。
- 事故やケガにおける対応法は、マニュアルに明示し、閲覧できるよう事務室に設置しています。保護者への情報発信体制、救急・医療機関、地域等のリストを備え、緊急時に対応できるようにしています。園内で事故やケガが発生した場合は、日誌、ヒヤリハットに記載して職員間で共有を図り、事故の報告、再発防止策を検討し、事故リスク軽減と改善に努めています。子どもの事故やケガについては、ケガの部位、軽重にかかわらず保護者に連絡および状況報告を行い、記録に残しています。
- 外部からの侵入に対して、マニュアルに沿って対応訓練を実施し、職員間で認識する合言葉を取り決め、避難体制の確認を行っています。玄関は常に施錠して安全に配慮し、インターホンで来訪者の確認を行っています。保護者にはICカードを使用してもらい、閉園時間はロックして使用不可とし、不審者侵入防止に努めています。不審者情報は、都筑区よりFAX配信にて情報を入手し、必要に応じて掲示をして保護者へ周知しています。

評価分類Ⅱ－３	人権の尊重
評価	

評価の理由（コメント）

- 職員は、声のトーン・速度、言葉遣いに配慮する他、急かしたり、強制することや、指示語、命令語の使用をしないよう、子どもの気持ちに寄り添い、アイコンタクトでゆっくりとわかりやすく話すよう努めています。
- 他児の視線を意識せずに過ごせる場所としては、3歳未満児が対象の保育園なので保育室は隔絶された場所ではなく広いスペースが設けられ、パーテーションや低い棚を活用して子どもが落ち着いて遊べるよう配慮しています。また、子どもの羞恥心、プライバシーを大切にして配慮しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、法人のポリシーとして系列施設全体で徹底を図っています。個人情報の取り扱いについてのマニュアルを備え、定期的に園内研修でも個人情報の管理・扱いについて確認し、周知しています。ボランティア、実習生等にもオリエンテーションの際に個人情報取り扱いについて周知し、理解を促しています。保護者には、入園時に個人情報の守秘義務について説明を行い、個人情報の取り扱い（肖像権等）の確認を行い、同意書を得ています。職員会議議事録、資料、個人情報に係わる書類・記録は施錠できる場所に保管・管理しています。また、ホームページ上のブログは閲覧者を限定しています。

●性差に関する配慮では、遊びや、持ち物の区別、順番、グループ分けや整列も性別で区別することはありません。子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現をしないように心得、無意識の言動等があれば話し合い、共通認識を図る体制を整えています。

評価分類Ⅱ－４

保護者との交流・連携

評価



評価の理由（コメント）

●基本方針の目的、建学の方針は、入園前説明会等で施設長から保護者へ伝え、入園時に配付する入園のしおりやパンフレットにも方針を明示しています。また、園だよりの中でも示して保育方針等が理解されるよう努めています。

●園生活での様子や活動内容については、送迎時の8時30分～17時30分の間は必ず担任が在園し、保護者に直接こどもの様子を伝えられるようにしています。全園児に連絡ノートがあり、日々子どもの様子を伝え、園の記録、個人の記録として活用しています。その日のお知らせ、活動内容はホワイトボードに掲示して伝えています。また、月1回園だよりを発行して日々の保育を伝え、行事時や活動時の写真を貼り出して子どもの様子を伝え、ホームページ上でブログを更新して保護者が見られるようにしています。保護者との連絡、伝達事項については、各クラスの担任間で専用ノートを活用して伝達を密にして共有を図り、伝達漏れのないよう努めています。

●個別相談・面談については、個人面談は必要、希望に応じて実施し、4月初めに懇談会を開催して話し合いの場を設け、行事後には担任と話す機会を設けています。相談については、相談室を活用して行い、面談中は扉を閉めてプライバシーを確保しています。相談を受けた場合は担任と主任で対応し、相談内容は施設長に報告および助言を得、継続的にフォローに努め、経過は記録に残しています。送迎時の相談等については、内容を伝達ノートに記録し、回答及び共有を図っています。

●保護者の保育参加・参観については、年度初めに年間行事予定を配付し、月間予定も含めて保護者が予定を立てやすいように配慮しています。3歳未満児の保育園なので原則、保育参加・参観を実施し、定めた期間、日程に多くの保護者に参加・参観を促しています。参加ができなかった保護者に対しては、懇談会等の機会で見てもらおうようにしています。

●保護者の自主的な組織は現状、設けていませんが、保護者の自主活動があれば受け入れる体制を整えています。運動会は保護者と共に楽しみ、個別に要望等があれば柔軟に随時、対応する等、施設長はじめ職員は、常に保護者とコミュニケーションをとり、意見交換がしやすい雰囲気作りや、環境作りに努めています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ-1	地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供
評価	

評価の理由（コメント）

●エクレスすみれ保育園では、地域の子ども支援のプログラムとして、①施設開放を年12回開催し、1歳児の保育室に身体測定器具を設置して参加者の子どもの身体測定サービスを提供しています。②交流保育では、年3回、親子イベント（音あそび、わらべうたあそび等）を実施し、在園児と地域の方が一緒に遊べるプログラムを実施しています。③育児講座では、年3回、地域の一員として様々なワークショップを企画し、実施しています。今年、絵本作家を招聘して近隣の子育て親子に参加を募り、また、法人系列校（岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校）と連携の基、トータルビューティー科の学生に協力を仰ぎ、地域の12歳以下の保護者対象にネールケア・ハンドマッサージの施術を行う活動の機会を提供しています。

●地域との関係については、法人エクレスグループの幼保連携型認定こども園エクレス（幼稚園部分）において町内会に加入しており、長坂町内会にも出席し、地域の情報等を収集しています。また、幼保小連絡会、都筑区の園長会にも出席して地域の子育て支援ニーズを把握し、全体で情報を共有しています。さらに、医師会の検討会に参加して関係機関と連携を図っています。

評価分類Ⅲ-2	保育園の専門性を生かした相談機能
評価	

評価の理由（コメント）

●都筑区のホームページ、広報よこはま都筑区版、園のホームページ、Twitter、Facebook等に掲載して情報提供しています。一時保育事業については園のホームページで積極的に情報提供を行い、非定型的保育、緊急保育、リフレッシュ保育の預かりを実施し、子育て相談にも応じる旨を発信しています。また随時、窓口、電話での子育て相談を受け付け、いつでも対応ができるよう体制を整えています。一時保育の利用者や園見学者、施設開放時にも園の情報を提供し、広報よこはま都筑区版の「保育施設・サービスの紹介」に掲載する等、情報を提供しています。

- 関係機関・団体等の連絡先リストを整備し、関係機関（都筑区こども家庭支援課・都筑区役所保健センターの保健師・横浜市北部地域療育センター・医療機関・警察・消防署、タクシー会社等）と連携を図っています。

評価領域IV 開かれた運営

評価分類IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価



評価の理由（コメント）

- 地域への園の理解促進のための取り組みとして、園の運動会、講演会等の際は地域にポスティングをして参加を募り、園の理解につなげています。年間を通じて、自治会、町内会、都筑多文化・青少年交流プラザ（つづき MY プラザ）、地域のボランティアグループ等と交流を図っています。散歩先では、近所の方に会ったら必ず挨拶を交わし、地域の夕涼み会では園の備品を貸し出して交流を図っています。
- 子どもと地域との交流では、他保育園（横浜市茅ヶ崎南保育園）との交流や、センター南商業地区振興会主催の「センター南の春まつり～みんなのこいみんなこい～」での、幼稚園の子どもが作成した鯉のぼりや広場いっぱい泳ぐ鯉のぼりを見に行き、地域の人々と交流を図り、地区の消防署や警察署に訪問して社会に触れ、近隣の商店にチューリップの球根を買いに出かけ、都筑地区センターへは園のポスターを掲示しに行く等、地域の文化に触れ、様々な人と交流する機会を設けてい

評価分類IV-2 サービス内容等に関する情報提供

評価



評価の理由（コメント）

- 園の保育内容・方針、サービス内容等の情報提供は、園のホームページや Twitter、Facebook、パンフレット、都筑区のホームページ、都筑区の広報誌、横浜市の「ヨコハマはびねすぽっと」にも情報を掲載しています。また、地域の情報サイトに園の情報を掲載して地域に周知しています。
- 園見学、利用希望の問い合わせは随時対応し、園見学は基本的に毎週、木曜日に設定し、都合が悪い場合は柔軟に対応しています。園のパンフレットは都筑区役所に設置して情報を提供しています。

評価分類IV-3**ボランティア・実習の受け入れ****評価****評価の理由（コメント）**

- ボランティア・実習生受け入れマニュアルを備え、受け入れ担当は施設長とし、マニュアルに沿って事前にオリエンテーションを行い、基本的な考え方や園の方針の説明および、利用者への配慮等について十分に理解を促しています。地域のボランティア団体や、夏休み等に保育体験をするプログラムを受け入れ、都筑区の高校生の教育交流等を行い、意見交換や仕事に対する興味を促しています。
- 実習生の受け入れ担当者を決め、実習生受け入れのマニュアルに沿って事前にオリエンテーションを行っています。実習では、学校の意向に沿いながら子どもの発達段階が見えやすいよう実習プログラムを作成し、効果的な実習に努め、担当職員と意見交換の機会を設け、気付き、成果に結び付くよう努め、次世代育成に力を入れています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上**評価分類V-1****職員の人材育成****評価****評価の理由（コメント）**

- 必要な人材の補充については、1次選考後、内定者は理事長面談の上決定し、園と法人とで補充を行っています。人材育成では、法人独自のOJTを導入し、法人の職務分類表により職員個々が自己チェックを行い、法人の管理部門にてチェックを行っています。人事制度については、キャリアパスの指針に準拠した体制を構築し、より良い職場環境作りに努め、職員の資質向上につなげています。
- 研修体制については、法人全体の研修プログラムがあり、シフトを調整して研修が受けられるように配慮しています。法人主催の研修、横浜市主催、都筑区主催の研修、園内研修、外部講師を招喚して研修を行う等、0歳～2歳児保育の知識・技術の向上を図っています。また、モンテッソーリ教育の研修（エクレスこども園の幼稚園で実施）には指名により職員が参加する体制にし、モンテッソーリの知識を深めています。モンテッソーリ教育は、職員が遊び方を提示し、子どもと並んで動作を示し、見本から促していく教育法であり、研修後は報告を行い、職員間で学び合い、日々の保育に生かしています。

●園では、非常勤職員に対しても正規職員同様に資質向上への取り組みに力を入れ、研修予定を案内して参加を促しています。また、全体会議への参加、年1回、非常勤会議を開催し、年2回は非常勤職員と面談を実施して要望等を把握するようにし、正規職員、非常勤職員間でコミュニケーションを図りながら園の円滑な業務につなげています。勤務体制は正規職員と組み合わせるよう配慮し、主任が子ども個々の様子、保育の方法、補助の仕方等の指導を行い、共通理解を図っています。

評価分類V-2	職員の技術の向上
評価	

評価の理由（コメント）

●法人の職務分類表には、法人として「求める姿」を明示し、専門分野についても「求める姿」を示しています職員個々のスキルの段階に応じた知識・技術向上に取り組み、職員の振り返り（自己評価）、保育所の自己評価を計画的に整備し、より良いサービス提供につなげています。園では、保育の質の向上を目指して勉強会、会議を実施して研鑽を図っています。また、外部から保育の技術の評価および指導を受け、法人のOJTを導入して全職員のスキルアップに取り組んでいます。

●職員の自己評価は、職務分類表に沿い、各自で目標を策定し、年度末に振り返りおよび改善を図るようにしています。振り返りでは、指導計画で意図した保育のねらいと関連付けて実施し、子どもの育ちや意欲等、成長のプロセスを重視して行っています。振り返りを通して各自で実践を評価し、改善および抽出した課題は継続して次年度の計画に反映させています。保育所の自己評価は、保育士の振り返りの結果から保育所としての課題を明確にし、全体的な計画に沿い、保育所の自己評価を実施しています。保育所の自己評価は、ホームページで公表しています。今年度、第三者評価を受審し、保育所全体の運営の向上に向けて取り組んでいきます。

評価分類V-3	職員のモチベーションの維持
評価	

評価の理由（コメント）

●総合的な人事管理では、法人の職務分類表に基づいて人材計画が成され、評価については「エクレス基準等級表」を設け、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価しています。来年度は改定予定とし、人事制度の改革に取り組み、全職員にも開示し、より効果的な人材育成により昇進等に反映させ、モチベーションアップにつなげています。

- 施設長は、年3回、職員と面接を行い、業務についてフィードバックを行い、成果を認め、次のステップに向けた努力や改善に向けて共に考え、共通認識を図っています。
- 施設長は、職員一人一人と面談し、満足度・要望等を把握するようにしています。権限委譲については、可能な限り現場職員に委譲する体制で進め、緊急時は必ず施設長、主任に報告を行い、指示を仰いでいます。係活動や行事担当等については、役割分担を明確にしています。

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価



評価の理由（コメント）

- エクレスすみれ保育園では、業務、情報の共有化に「サイボウズのグループウェア」を導入し、予定管理、ファイル管理、必要な情報を共通認識し、認証プロセスによりセキュリティを強化しています。これにより不正・不適切な行為を防ぎ、さらに、行動指針として守るべき法・規範・倫理を明文化してコーポレートポリシーを学び、社会規範を遵守しています。コンプライアンスについては、施設長から他施設の事故・不祥事等の事例、不適切な事案を題材にして研修を行い、個人情報の扱い、義務遵守の徹底を周知しています。
- 保育所における事務、経理に関するルールや職務分掌、権限、責任が明文化されています。法人内部で監査を定期的実施し、外部監査の指導や指摘事項に基づいて、経営改善を実施しています。
- ゴミ減量化、リサイクル・省エネ促進と緑化推進では、環境配慮の考え方を「建学」の目的の中に「子どもが健やかに成長できる環境の整備」を掲げ、園全体で取り組んでいます。夏季・冬季での室温設定を定め、牛乳パック等の廃材を活用して靴を履くベンチを作る等、リサイクルに努めています。園内の照明はLED化を推進し、省エネルギーに努め、ゴミ減量や環境への意識を園全体で高めています。

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価



評価の理由（コメント）

- 理念・基本方針は明文化し、建学の方針を朝礼で唱和し、全職員は理解を深めています。理念、基本方針は園内に掲示し、職員、保護者等が目に触れるようにしています。4月の全体会議で理念、基本方針を示し、施設長から説明を行っています。施設長は、園内研修や職員会議で理念や基本方針に基づく保育について話し、日々の保育に反映されるよう指導力を発揮しています。

●重要な意思決定にあたり、施設長は、年3回開催している保護者会の運営委員会で説明および理解を促し、必要に応じて総会でも説明を行い、理解を得るようにしています。重要事項の変更では、職員間で共通理解を図り、玄関に掲載して保護者にも理解を促しています。施設長は、各クラス担任、職員と連携し、日常の役割分担の他、異なる部門間で新規プロジェクトを推進する等、年間を通して保育課題の解決に努め、リーダーシップを発揮しています。

●スーパーバイズのできる主任クラスの育成については、クラスリーダーを育成し、職員にスーパーバイズを実施しています。新人職員に対するOJTに関するリーダーは側近の先輩保育士が担当しています。主任は、職員の業務状況を実務や書類等を確認し、個々の能力や経験値に合わせて的確な助言・指導を行い、職員の精神面、体調等が良好な状態で仕事に取り組めるよう配慮に努め、園のパイプ役となり、円滑な園運営に尽力しています。

評価分類VI-3	効率的な運営
評価	

評価の理由（コメント）

●園の運営面における情報は、人口統計や地域の園長会議等の情報を得、分析して運営に生かしています。重要性の高い情報は、施設長、主任、副主任でリーダー会議を設け、幹部職員や主要な職員間で共有し、園運営に生かしています。運営面での重要な改善課題については、グループウェアで共有化を図り、園全体で改善に取り組んでいます。保育所の自己評価や改善課題についても話し合いの場を設け、より良い園作りに向けて取り組んでいます。

●法人、園で中・長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、中・長期的な計画を踏まえた単年度の事業計画を作成しています。次期後継者の育成については、法人理事長は常に見直しを行い、体制作りを検討し、目標に向けて育成、資質向上に力を入れています。外部からの専門家の意見については、施設長は、他分野の意見を取り入れ、社労士の意見等も取り入れる等、様々な側面からの意見を園運営に生かすよう努めています。エクレスすみれ保育園は、家庭や地域との関係や個々を尊重する保育理念に沿い、子どもの成長の丁寧なサポートに尽力し、健全に運営を進めています。

平成 30 年度 福祉サービス第三者評価 本人（園児） 調査結果報告書

エクレスすみれ保育園

調査日程	平成 30 年 10 月 1 日・3 日
保育観察	保育園を調査者 2 名で訪問し、全クラスの視察、観察を行いました。生活環境の保育観察を行い、午睡の様子と保育観察を継続する中、食事場面も同席して子どもと保育士とのかかわり等を観察し、食事の様子を観察を行いました。各年齢については 1 日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

■散歩のお出かけ前

【0 歳～2 歳児】

エクレスすみれ保育園の評価調査の前日、9 月 30 日の夜に台風 24 号が東上しつつあり、調査訪問への不安を抱きながらも朝、台風は福島県あたりを北上中となり、横浜は快晴となりました。園でのオリエンテーション時に伺うと、先週は雨で外に出られなかったので今日は、全クラスお散歩にでかけるとのことで、オリエンテーション終了後、一緒にお散歩に行きました。玄関先にはきいろの帽子を被った 0 歳児（もも組）、1 歳児（たんぼぼ組）は青い帽子を被り、賑やかに揃い、保育士に手伝いをしてもらいながら個々に靴を履こうとしています。玄関はバリアフリーとなっており、牛乳パックで作られた長椅子に腰をかけて靴を履きやすいよう配慮されています。たんぼぼ組の子どもに「もも組さんと一緒にお散歩に行くの？」と聞くと、首をかしげ、保育士から出かける時間が一緒になったことを教えてくれました。1 歳児は手をつなぎ、0 歳児はバギーに乗ってお散歩へと出かけました。時間差で 2 歳児が半分に分かれて 2 階から降りて来ました。2 歳児（ゆり組）はピンクの帽子を被っています。靴は順番に履き、全員が揃うまで玄関の外で座って歌を歌いながら待ちます。「〇〇さん（調査員）も一緒に」と保育士に言われ、「～苺のようなは一な……」と歌い、お顔を指しながら可愛らしい動作を子ども達と一緒にを行い、楽しく待ち、散歩へと出かけます。

■お散歩

【1 歳児】

今日の 1 歳児（たんぼぼ組）は 11 名です。男性の先生（保育士）1 名と女性の先生（保育士）4 名が子どもを引率して公園にお散歩に行きます。保育士 1 名が 2 人の子どもを見守り、出発前に整列をして点呼を行い、名前を呼ばれるとみんな大きな声で返事をしています。散歩の行き先は、保育園の前の道路を渡れば直ぐの「大原みねみち公園」に出かけます。少し別のルートから歩き始め、保育園の前の通りの歩道を右に向かい、途中、靴が脱げて自分で履こうとしてしゃがむ子どもや、遅れると急いで駆けだす子ども等、その都度、先生（保育士）が「大丈夫！大丈夫！」と声をかけて子ども達を安心させています。交差する道を横断する際は、交差点で車の確認を「右、左もう一度、大丈夫」と、先生（保育士）のかけ声で子

も達は手を上げて渡ります。目的地までに2回交差点を渡りましたが、みんな得意げに手を上げて横断し、とても良い体験をしています。しばらくすると、目の前に芝が一面に生えそろった広場が現れ、ここが今日の目的地です。全員がしゃがみ、人数確認と、注意を受け、広場の中ほどに大きな「水たまり」があり、先生（保育士）がその水たまりを指して、「中に入っては〜?」と言うと、子どもたちが声を揃えて、胸の前で手をクロスさせて「だめ〜!」と答えます。さらに少し遠くを指して「あっちに行つては〜?」と聞くと、手をクロスさせて「だめ〜!!」と全員が大きな声で返答します。水飲みの注意では、水筒を示して「喉が渴いたら飲んで下さい」と説明を行い、遊びが始まりました。公園周囲には樅の木がたくさん植栽されドングリがいっぱい落ちています。子ども達はビニール袋をもらって思い思いにドングリを拾って集め、最初は一塊になっていた子ども達も「あっ、あった」と言いながらドングリを追って広がり始めました。少し離れたところに見慣れない大きな実もたくさん落ちていて、一見栗のようですが不思議そうに「あれ〜」と言いながら拾って袋に入れていました。自然に触れ、緑の空気を感じ、恵まれた環境の中でしばらく遊び、集合して園に戻りました。

【2歳児】

2歳児（ゆり組）の子どもたちは2人ずつ手をつないで散歩にでかけます。整列ではつなぐ気が無い子どもや、そっぽを向いている子ども、しっかり手をつないでいる子ども等、様々です。先生（保育士）は急かさず見守りながら、「〇〇ちゃんと〇〇くんは手をつないでね」等、やさしく促しています。この日は看護学科の大学生が3人実習に来ていて3つのクラスにそれぞれ入り、今日が初日で一緒に散歩にでかけます。また、保育参加の「ママさん先生」が1名あり、担任4名、それに調査者1名の大人7名と12名の子どもたちと出発です。散歩の行き先は、園から100m程先の「長坂ささの公園」です。道中、子ども達がいづれも会う犬が家の玄関先で寝ていて、犬の名前を知っている子どもが「〇〇〜!」と呼んで愛しみ、そして公園に着きました。公園の石のところに座って、先生（保育士）から注意があり、「あちは道路ですが、道路に出ていいですか?」と聞くと、子どもたちは「だめ〜!」と大きな声で答え、「横の道に出るのは?」と言うと、「だめー!!」と答えます。公園は台風通過の後で木の実や枝等がたくさん落ちており、注意事項の間に引率の保育士達が手分けして危ない箇所点検や折れた枝等を片付け、「枝を持ったり、持って走ったりしたらだめですよ!」と注意を受けながら自由遊びに入ります。公園にはジャングルジム、滑り台、砂場があり、ジャングルジムはロープで作られたタワーのような造りになっており、中段には平面の木の遊び場が設けられ、一部の女の子がそこを目指してよじ登り、先生（保育士）も一緒に登って、「その上の交差した所に足を掛けて」等、登り方を教えています。一生懸命に中段まで登り、その子どもは今日始めて登れたそうで達成感の表情を見せていました。さて、降りようとする「怖い」と言い、男の子達にコースを譲ってもらい、女の子はロープが交差するところに足をかけて慎重に降りて着地では自信がついたようでした。砂場では、園から持って行った玩具のポリバケツ、シャベル、熊手、箆を使って遊び始めた子どもたちは、山を作る子どもや、木の実を持ってくる子ども、おままごとを始める子ども等、それぞれに創造豊かに楽しく遊んでいました。ママさん先生も他の保育士の中に溶け込み、和やかに遊び、自由遊びが終了後、1歳児の散歩帰りとは合流して一緒に園に戻りました。

■食事の様子

【0歳～2歳児】

食事は、毎日厨房で隣の法人系列の幼稚園と併せて500食くらい調理されており、そのため園舎1階の大部分は厨房となっており、食事は、エレベーターでワゴンに乗せて各保育室に運ばれます。0歳、1歳児の食事では、0歳児は、保育士が声かけを行いながら離乳食を一人一人にスプーンで食べさせてもらっていました。食事の同席では、1歳児に人見知りの子供がいるので配慮し、2歳児の保育室で調査者2名と一緒に食事を摂らせてもらいました。食事前に先生（保育士）から子ども達に紹介してもらい、子どもたちのテーブル席に着きました。子どもたちは調査者を気にしている様子が伺え、「どこから来たのだろう、なんでいるのだろう・・・」と心の声が聞こえてきそうな雰囲気でしたが、隣の子供が人懐っこく「ピッカピカ!」と言いながら度々お皿を見せてきます。全部食べたのを自慢しているのですが、よく見ると汁ものの中に野菜とお浸しの野菜が残っており、野菜が少し苦手ようです。園の方針では3歳未満児を考慮し、無理に勧めることはせず、「1口食べてみようね」と勧める程度にしているとのことで、保育士は一人一人の食事の進み具合を見て回り、時折、器の中を見て食べ残しを「集まれ、集まれ」と言って寄せて食事を促していました。時間の経過と共に眠くなる子どももいて食事のスピードが少々落ちてきましたが、慌てさせることなく最後まで子どものペースで食事ができるよう配慮していました。食事を早く食べ終えた子どもは「ごちそうさま」をして食器を片付け、午睡の準備に入り、歯磨きやパジャマのお着替えを始めていました。まだ大変さも見られましたが、子ども達はしっかりと習慣を身に付け、自立に向けて一人で行けることは自分で行っていました。

■午睡の様子

【0歳児】

保育室は園舎2階中央部に位置し、ホールから見て1歳児の保育室を中心に左右に0歳児、2歳児の保育室が設けられており、遊び、食事、午睡が別々に場所を確保できる広い保育室です。大きな窓越しからは大原みねみち公園の緑が迫り、豊かな自然や四季が存分に味わえる環境です。0歳児は11時過ぎに食事を済ませて午睡に入ります。布団にゴロンと転がり、保育士に背中をトントンしてもらいながら安心して眠りに入っていました。

【1歳児】

1歳児の保育室は1番大きな部屋で、横に長くて大きい空間を3分割し、左奥が食事スペース、中央が自由スペース、右奥が寝るスペースとなっており、快適な空間作りが成されています。観察では食事は終わりに近づいていて、早く食べ終わった子どもは寝る場所に向かい、お布団の上で飛んだり跳ねたりしながらはしゃいでいましたが、その後、コテンと眠りにつき、清々しい環境の中で体を動かし、おいしい食事を終え、満足して眠る一人一人の姿が見られました。

【2歳児】

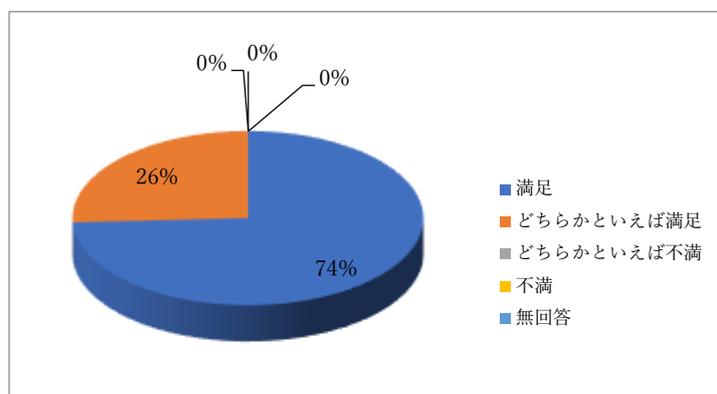
2歳児の保育室では、調査者も一緒に食事をした子どもたちがパジャマに着替えて午睡に入る準備をしていました。はしゃぐ姿も見られましたが、中では一番大きいお兄さんとお姉さんとなるので1歳児に比べてすごく落ちついた感じがしました。歯を磨いている子どもやパジャマに着替える子ども、自分で布団を動かしたりしながら順次、お布団に入り、すぐにぐっすり寝入っていました。一人でなんでもできる2歳児の姿にびっくりしました。寝起き時に行ってみると、子ども達はお布団に座ってまだ眠たくて、夢の途中なのかボーっとしていましたが、この時の2歳児は天使のような表情をしていました。

【エクレスすみれ育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	30年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配付世帯数（世帯数 38）
有効回答数	31 世帯
世帯総数に対する回答者割合（%）	82%

0 歳児	1 歳児	2 歳児
5 世帯	10 世帯	16 世帯

* 回答があった利用者満足度の内訳（%）



●利用者アンケートの特徴として、総体的に園に対する満足度が高く、特に、日常の保育内容での「遊びについて」の項目は『満足』を高く示しています。また、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、ほぼ満足という）見ると、「ほぼ満足」では 100%を示している項目が多く目立ちます。『満足』の高い項目では、「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動」について、「お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気」について、「お子さんが大切にされているか」についての 3 項目では、『満足』74%を得ています。また、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、『満足』71%となっています。

「ほぼ満足」として高い項目では、「年間の保育や行事についての説明」、「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について」、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持てているかについて」、「遊びを通じたお子さんの健康作りへの取り組みについて」、「給食の献立内容について」、「お子さんが給食を楽しんでいるかについて」、「お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについて」、「園の行事の開催日や時間帯への配慮について」、「お子さんが大切にされているかについて」、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて」の 10 項目が挙がり、これら 10 項目は「ほぼ満足」が 100%を得ています。他の設問項目についても「ほぼ満足」に関しては高い評価が得られています。

●アンケートの自由記述からは、各年齢の保護者から「子どもたちも保育園で伸び伸びと過ごしている」、「大切に子どもたちを育ててくれている」、「登降園時の連絡等、とても丁寧に対応してくれる」、「職員が笑顔で対応してくれ、園外でも挨拶等してくれて嬉しい」、「家庭的な雰囲気、大事に接してもらっている」、「保育園で様々な体験（食育体験、野菜の収穫）等をさせてくれる」、「優しく子どもを見守り、健やかな成長をサポートしている」等、多くの喜びと感謝の言葉が挙がっています。

●『不満』および、『満足』が低い項目についてはほとんどありませんが、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」について、「おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか」について、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」についての3項目が、少数の意見として『不満』3%として挙がっています。

●アンケートの主な意見からは、「食事エプロンに食べカスが入っていた」、「HP内の在園児限定ブログに園での1日の様子を頻繁にアップしてほしい」、「園庭がないので、公園等での外遊びを増やしてほしい」、「連絡ノートが続けて欲しい」等の意見が挙がっています。それぞれの意見に関しては、意見、要望等として受け止め、でき得る限りの改善に努め、配慮すべき点、周知する工夫、説明等について日々の振り返りと見直しを図る機会を設け、継続してより良い園作りへの取り組みを期待いたしております。

●保育園の基本理念や基本方針については、よく知っているが23%、まあ知っている61%、どちらともいえない10%、あまり知らない3%、無回答3%という結果になっています。しかし、それらの賛同については、賛同できる55%、まあ賛同できる29%、無回答16%にて、84%がほぼ賛同を示しています。園では理念、方針について機会あるごとに周知を図られていますが、より一層の周知、理解を促す工夫を期待いたします。

●総合的に、『満足』は74%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は26%にて、『どちらかといえば不満、不満、その他』は0%にて、サービスの提供について、100%が「ほぼ満足」していると捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

エクスすみれ保育園

【保育園の基本理念や基本方針について】

※上段%、下段人数で示しています

問 1

利用者調査項目		よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	23%	61%	10%	3%	0%	3%
		7人	19人	3人	1人	0人	1人
		賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	55%	29%	0%	0%	0%	16%
		17人	9人	0人	0人	0人	5人

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	61%	23%	0%	0%	13%	3%
		19人	7人	0人	0人	4人	1人
《その他意見》		・見学していない。 ・見学をしなかったため。 ・見学をせずに入園したため。(1)					
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	61%	35%	0%	0%	0%	3%
		19人	11人	0人	0人	0人	1人
《その他意見》							
5	園の目標や方針についての説明には	55%	39%	0%	0%	3%	3%
		17人	12人	0人	0人	1人	1人
《その他意見》		・あまり説明がありませんでした。					

6	入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応については	55%	39%	0%	0%	3%	3%
		17人	12人	0人	0人	1人	1人
《その他意見》		・書類に記載し、提出しました。					
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	52%	45%	0%	0%	0%	3%
		16人	14人	0人	0人	0人	1人
《その他意見》							
8	費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	68%	23%	6%	0%	0%	3%
		21人	7人	2人	0人	0人	1人
《その他意見》							

問3 保育園に関する年間の計画について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
9	年間の保育や行事についての説明は	61%	39%	0%	0%	0%	4%
		19人	12人	0人	0人	0人	1人
《その他意見》							
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	39%	55%	3%	0%	3%	0%
		12人	17人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・説明がありませんでした。 ・要望を聞かれていない。 					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	65%	32%	3%	0%	0%	0%
		20人	10人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							

12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	58%	39%	3%	0%	0%	0%
		18人	12人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	65%	29%	6%	0%	0%	0%
		20人	9人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》		・絵本やおもちゃが手の届くところにあり、自由に取って遊べます。					
14	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	74%	26%	0%	0%	0%	0%
		23人	8人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
15	遊びを通じた友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	61%	39%	0%	0%	0%	0%
		19人	12人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・少しずつ慣れるようになってくれました。					
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	55%	45%	0%	0%	0%	0%
		17人	14人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・食育で食べ物大切さを教えてくれ、以降興味を持ち始めました。					

「生活」について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
17	給食の献立内容については	52%	48%	0%	0%	0%	0%
		16人	15人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	65%	35%	0%	0%	0%	0%
		20人	11人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・苦手な物も少しずつ食べられるようになりました。					

19	基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	68%	29%	3%	0%	0%	0%
		21人	9人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	61%	35%	0%	3%	0%	0%
		19人	11人	0人	1人	0人	0人
《その他意見》							
21	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	48%	32%	3%	3%	13%	0%
		15人	10人	1人	1人	4人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ取り組んでいない。 ・協力はしていない。 ・わからない。 ・まだなので不明。 ・園の様子を園側からは伝えてくれない。 ・連絡ノートに記入してくれます。 					
22	お子さんの体調への気配りについては	58%	39%	3%	0%	0%	0%
		18人	12人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時にきちんと説明してくれます。 					
23	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	58%	35%	3%	0%	3%	0%
		18人	11人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・まだケガをしていません。 ・説明がないことが多々ある。 					

問5 保育園の快適さや安全対策については

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
24	施設設備については	68%	29%	0%	0%	3%	0%
		21人	9人	0人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・階段が急で狭い。 ・とてもキレイです。 					

25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについては	74%	26%	0%	0%	0%	0%
		23人	8人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・広々と過ごせます。					
26	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	58%	35%	6%	0%	0%	0%
		18人	11人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》		・ICカードや門で、対策がとられています。					
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	65%	32%	3%	0%	0%	0%
		20人	10人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》		・入口に掲示してありません。					

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	23%	61%	10%	0%	6%	0%
		7人	19人	3人	0人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・ない。 ・まだ開催されていません。 ・機会を希望。 					
29	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	45%	52%	3%	0%	0%	0%
		14人	16人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》		・もう少し、ブログで数えてほしいです。					
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	55%	45%	0%	0%	0%	0%
		17人	14人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
31	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	58%	29%	10%	3%	0%	0%
		18人	9人	3人	1人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・1日の様子を伝えてくれます。 ・もう少し聞きたい。 ・全くない時もある。 					

32	お子さんのに関する重要な情報の連絡体制については	55%	42%	3%	0%	0%	0%
		17人	13人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
33	保護者からの相談事への対応には	48%	48%	3%	0%	0%	0%
		15人	15人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》		・忙しいのはわかるがもう少し…。					
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	48%	45%	0%	0%	6%	0%
		15人	14人	0人	0人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・まだないので、どちらとも言えない。 ・わからない。 ・可能な限り対応してくれます。 					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	74%	26%	0%	0%	0%	0%
		23人	8人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	71%	29%	0%	0%	0%	0%
		22人	9人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							

37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	48%	29%	0%	0%	19%	0%
		15人	9人	0人	0人	6人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・不明。 ・知らない。 ・それはわからない。 ・アレルギーはありません。 ・該当する子の有無が不明なため。 					
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	68%	29%	3%	0%	0%	0%
		21人	9人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・とても親しみやすいです。 ・とても大変で忙しいのも理解できますがもう少し…。 					
39	意見や要望への対応については	61%	32%	0%	0%	6%	0%
		19人	10人	0人	0人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・あまり聞かれない。 					

問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	74%	26%	0%	0%	0%
		23人	8人	0人	0人	0人
《その他意見》						

保護者アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

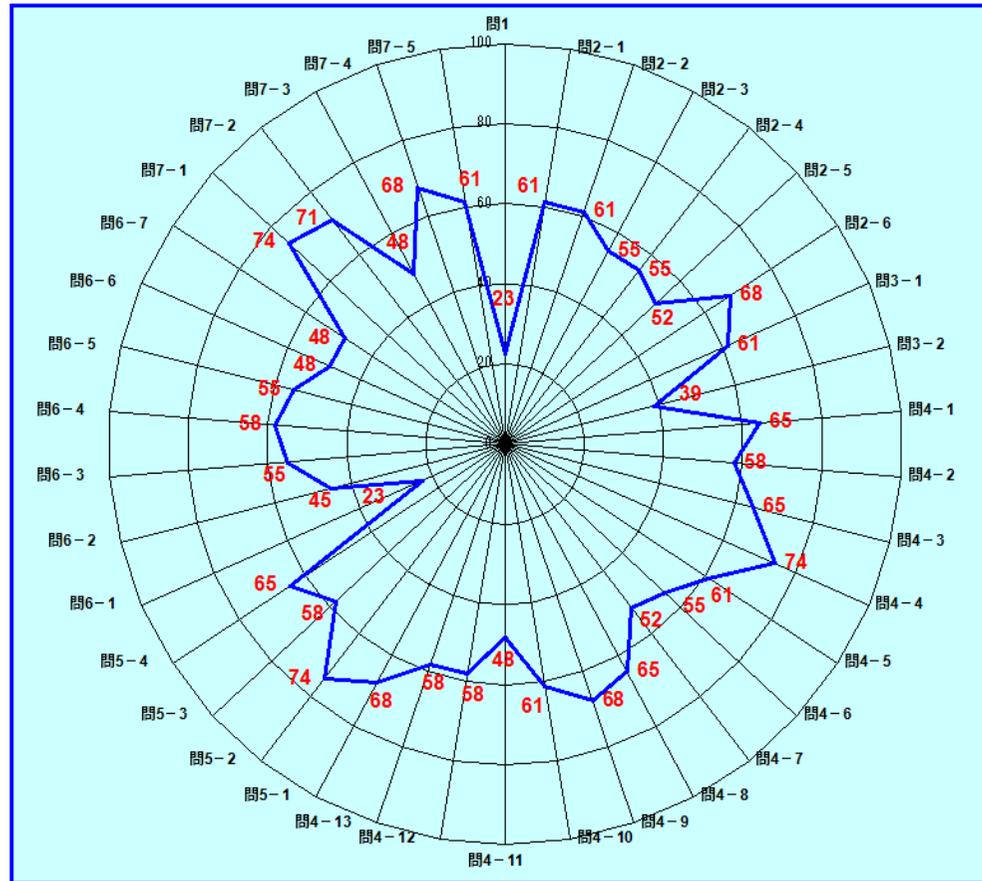
（注）レーダー数値は設問別「満足度」回答率（小数点以下は四捨五入）

調査対象園舎： 学校法人 岩谷学園 エクスすみれ保育園 横浜市都筑区長坂 7-15

回答世帯数：38 世帯中 31 世帯 <0 歳児(5 世帯)、1 歳児(10 世帯)、2 歳児(16 世帯)>

定 員 : 38 名

調査期間： 2018/04/05 ~ 2018/09/07



施設名： エクレスすみれ保育園

施設長： 飯塚 大輔

<評価に取り組んだ感想>

取り組むにあたり、項目に対して、自園はどうかどうかということを担任職員にチェックしてもらいました。
書かれている項目は、どれも大切なものばかりで、職員一人ひとりが改めて意識を向けられることにもつながりました。

チェックしたものを、施設長、主任、リーダーとで、園としてまとめる作業を行いました。
あやふやだったことが、項目に対して話し合うことができ、共通認識を持つことができました。

今回は、第三者評価があるということで、日々の保育の振り返りを行ったが、このような取り組みは、毎年行うことが大切だと感じることができました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 全職員に見えるような場所に、評価表を事務所に置く
2. 次年度以降の保育所の自己評価の参考資料として活用